



令和5年8月1日

# 8月 ちびっこの森通信 vol.75

## ☆☆今月のテーマ☆☆

- ・夏ならではのプールや水遊びを楽しみ、水に慣れる
- ・汗をかいた時は着替えや水分補給を心掛ける



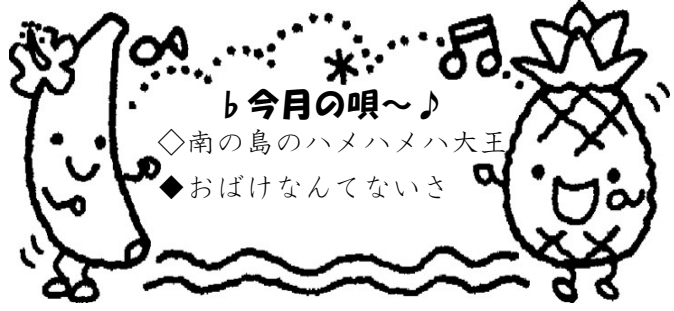
## ～今月の園内学習～



- ・足し算…8の段
- ・掛け算…8の段
- ・絵画カード…「日傘」ほか
- ・声に出して読みたい日本語…
- ・歴史カード…「雪舟」ほか
- ・国旗カード…「ドイツ」ほか
- ・地理カード…中国地方



「雪国 川端康成」ほか



## ♪今月の唄♪

- ◇南の島のハメハメハ大王
- ◆おばけなんてないさ

## ～保育のポイント～

ヒトやモノが国境を越え自由に行き交うグローバル時代で言葉・文化の異なる人間同士のコミュニケーションツールとして言語影響力指数(経済、外交などの5つの観点)から見て、世界ではやはり英語が断トツの1位。ただ、昔から日本人の英語力は世界的にも限定的なアジア地域でも下位に甘んじているのが現状です。それはアメリカ国務省の外交官養成局が「日本語は英語のネイティブスピーカーにとって超難関言語に分類されている」ことから理解できるように、日本人にとっても(単語・文法・発音の)言語の基本要素全てにおいて全く異なる英語習得は難しさがあると言えるでしょう。もう一つの、しかも最大の要因としてバイリンガルの子を10年間にわたり研究した米国の言語学者レオボルドの「外国語の習得は10歳を過ぎてからでも不可能ではないが、よい成績を収めることは不可能である。なぜなら、それは反生理的だからである」の一言が象徴的に表わしています。そういえば、幼児期に海外で過ごした子が何の抵抗もなく英語を繰り出す姿を見れば合点がいきます。つまり、6歳までの幼児は自律神経が「お休み神経」と言われる依存型のゆるやかな働きをしていると言われ、頭脳が集中し、その集中を妨げる他の要素を排除するα波が働きやすいので同じことを同じ時間学んでも、特に記憶しようと思わなくても楽に記憶できるそうです。それは丁度、スポンジが水を吸うような吸収力抜群な効果を発揮するのと同じと言えます。ですから、α波は言葉の習得に不可欠なのですが、6歳を過ぎる頃から、段々(五感全てから情報を得る)β波に移行するので語学習得が難しくなるということです。幼児期の過ごし方が言葉だけでもこれだけのことが言えますので一工夫していくことが求められているように感じます。

～「右脳」子育て 七田真著より～



## ～行事予定～

- ・書道教室…3日・10日・17日・31日
- ・リトミック教室…7日(幼児) 21日(乳児)
- ・英語教室…9日(乳児) 23日(幼児)
- ・身体測定…21日(幼児) 22日(乳児)
- ・体操教室…25日(2歳児/4・5歳児) 28日(0・1歳児/3歳児)
- ・避難訓練…29日
- ・誕生日会…30日



## 「ひよこ」と「りす」組だより



じれったい梅雨は明けそうで明けない中、プール開きの7月を迎えることとなりました。みんなにとって水あそびはどんなイメージなのか? 意外や意外でプールに張った水の中に何の抵抗もなく入り、「きゃっ」や「つめた〜い!」と歓声(?)があがっています。そこで、「座ってみる?」と声をかけると、おもむろに座って“涼”をさらに全身に取り入れようとする姿が見られます。さらに、水あそび用のジョウロに水でクールダウンをすべく全身に浴びせたり、お友だちの身体にかけたりして水あそびを楽しんでいます。この厳しい暑さはこれから本番を迎えますので水あそびで涼を取り、元気に夏を乗り越えていきたいと思います。



## 「きりん」と「こあら」組だより



蒸し暑さがじわじわと忍び寄り、強烈な日差しがジリジリと皮膚を真っ黒にしそうな夏本番も間近。きりん組のみんなのブームは、プールでのワニ歩きで入水、トイレへの移動もワニ歩きそして手遊びの唄も「ワニのかぞく」といった具合に「ワニ」です。他には、スモックの着用では「ポッケは前(になってる?)」と確認する仕草が印象的となっています。こあら組は今はちょっと大げさな表現ですが、「水あそび・命」のようで当日が水あそびだと朝から「早く水あそびしたいよぉ〜」とソワソワ・モゾモゾ状態。その時間となると、人が変わったように水着姿に変身し、水あそびを楽しむ姿が何とも微笑ましい光景となっています。とはいえ、水に慣れていない子もいますが、みんなと同じように楽しめるように徐々に慣れていってほしいなぁ〜と思い、見守っていききたいと思います。



## 「ひつじ」と「ぞう」組だより



朝からの蝉の大合唱が梅雨を吹き飛ばし夏を呼び寄せる勢いが感じられる今日この頃。これから夏本番を迎えるにあたり、みんなにとってコロナ禍が落ち着きを見せてきた今夏において水あそびが目下、格好のスリルとクールダウンで外せないひとときとなっています。ひつじ組ではお着替えの際、必ず服の前後の確認をするようになり、着実かつ大きな成長の姿が見られます。ぞう組のみんなはプールでザブンと身体全体を水に預けるのもよし、シャワー攻撃が駐車場を駆けまわり何処までも襲ってくるスリムもよし、水鉄砲で水の掛け合いも良しと、水あそびを大いに楽しんでいます。蒸し暑さで過ごしにくさが増す中、これからも水あそびで涼を取り、元気に楽しく過ごしていきたいです。



## 給食室だより

## ～夏野菜パワーと生活リズムの維持で元気に!～

今年も梅雨が明け、これからはギラギラの太陽の日差しを受け、さながら「蒸し風呂状態」で発汗を補うのに冷水を口にしがち…また、日中は外気と室内の温度差で体温調節の自律神経がバグし、夜の熱帯夜による寝不足などの要因が重なり、ついには全身のだるさや疲労感などの夏バテ症状に陥りやすくなります。そこで、夏バテ予防対策として適度な運動と規則正しい生活リズムを保つようにし、食生活のポイントとしては①食欲減退期は食べやすいそうめん等に頼りがちですが、栄養バランスが崩れがちです(少量でも構わないので)1日3食、消化によい(肉、卵や牛乳など)たんぱく質や(野菜や果物など)ビタミンと(牛乳など)ミネラルをバランスよく摂ること②夏野菜は水分、ミネラルやビタミンB群などの栄養素を多く含むので食欲がない時こそ上手に摂取し、脱水症予防にも効果的です。また、オクラなどのネバネバ野菜は弱った胃の粘膜を保護し消化吸収を助けてくれます。③冷たい飲料は胃腸の機能低下を招くばかりか、冷たいアイスやジュース類は本来の甘味が感じられず、糖分による満腹感で食欲減退を引き起こすことにもなります。電子機器を活用して温かい料理を摂るようにしましょう。④疲労回復には(柑橘系果物の)クエン酸で疲労の原因となる乳酸を排出してくれる効果があるので摂り入れていきましょう。これらで日本の夏、蒸し風呂状態を克服し元気に楽しく過ごしていくようにしましょう。